

地域と大学

第21号

Newsletter No.21, Center for Education and Research in Lifelong Learning

音楽で、つながる——そのきっかけは地域にあった

生涯学習教育研究センター副センター長（教育学部准教授） 小西 潤子

約10年前、大阪で非常勤講師をしながら子育てをしていた私の目に、ある新聞記事が目にとまった。当時のT大学長が、「これからの大学人は、研究、教育、地域連携、国際交流に貢献しなければならない」と述べていた。幸いにも間もなく静岡大学に着任が決まった私は、教育学部の教員かつ音楽学研究者として出来る地域連携や国際交流を考えるようになった。

そもそも音楽には、人と人をつなげる力がある。全国各地のコンサートホールで開催される音楽祭などには、地域のイメージ・アップや経済活性化への思いが込められている。静岡県内でもクオリティの高い演奏会や独自のイベントが催されているが、人々の目は大都会に向いてしまう。一方、学生には卒業後、地域の文化を支えることが期待されている。近隣の文化施設とタイアップして何か出来ないか——。そう思っていた矢先の2002年、音楽を専門とする学生対象の学芸員実習科目を設置することになった。

「学生が音楽イベントに参加して、本番に至るプロセスを支える仕事を体験する実習」を求めて、断られるのを覚悟でグランシップの管理受託者（当時）・財団法人静岡県文化財団を訪問した。すると、「グランシップ開館3周年記念事業『アジアワールド・イン・グランシップ』への参加はいかがか」と即答で実習生受け入れが打診されたのである。

「アジアワールド」は、2002年8月～9月にかけて延べ22日間に、現物展示はもちろん、日本、韓国、北朝鮮、中国、モンゴル、ネパール、インドネシア、インド、イランいずれかの音楽演奏が毎日行われるという大イベントであった。それを少人数のスタッフが企画し、共催者、外国人を含む多様な協力者やボランティア、子どもから大人まで多くの参加者を束ねて運営していくのは見事であった。アジアの

文化に馴染みのない学生たちにとっては、格好の勉強のチャンスであった。私にとっては、学生が地域の文化施設と人々との接点となり世界の文化を共有するという、「地域貢献、国際交流」の目標を一挙に実現できるものであった。そして、地域貢献や国際交流は、頭で考えるよりも身体を使って現場で動く活動だと実感した。

静岡県文化財団とは、翌年の「わくわくワークショップ・イン・グランシップ」での実習生受け入れと静岡大学音楽身体表現団 The Pacific Eelesによる歌・踊り・音楽のワークショップ（2003年8月に延べ4日間）以降、毎年の実習を通して連携を強化してきた。2008年には、設立10周年記念事業の一環として大倉源次郎・大倉流小鼓方家元による鼓の静岡大学内における「出前講座」、2010年度の実習では財団側から専門家を招聘しての事前指導4回と事後指導3回を受けるなど、その後も大変恵まれた処遇を受けている。その間、静岡市立日本平動物園や静岡市健康文化交流館「来・て・こ」での演奏会活動も実現した。

このように振り返ってみると、地域とつながるきっかけは私が地域に出向いたことから始まった。文頭であげた理想的な大学人とは、座学（研究、教育）とフィールドワーク（地域連携、国際交流）とをバランスよくこなすプロフェッショナルをも意味するといえよう。そのように自分に言い聞かせてきたとはいえ、どうも「バランスよく」というのがむずかしい。まだまだ修行の足りなさを感じているこの頃である。



2010年度静岡大学公開講座が開催中です

今年度の公開講座は、以下の表のとおり、5月から翌年3月にかけて多彩な15講座をお送りしています。それぞれの専門分野を生かした、特色ある講座が開講されています。

東西に長い静岡県の地形を考慮し、静岡、浜松、沼津など、静岡県の県内各所で開講し、静岡キャンパス、浜松キャンパスをはじめ、静岡市産学交流センター

(B-nest) や沼津市民文化センターなどが会場となっています。また、一般の方を広く対象にした講座もあれば、子どもや親子、あるいは教員など、受講対象を絞った講座もあり、さまざまなニーズに応じて、多様な講座が用意されています。

すでに終了したものもありますが、実施結果については、次号の『地域と大学』でお知らせする予定です。

■公開講座の一覧

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
人間力と技術力との統合 (静岡会場)	工学研究科教授 館岡康雄 工学部准教授 前田恭伸 情報基盤機構教授 井上春樹 工学研究科教授 相原憲一 工学研究科教授 上田芳伸	5/7(金)・20 (木)・6/3(木)・ 17(木)・7/2(金) 18:30～21:30	静岡市産学 交流センター B-nest	起業を目指す方、新しい価値観を考えたい方	45	3,200	(工)
人間力と技術力との統合 (浜松会場)	工学研究科教授 上田芳伸 工学研究科教授 相原憲一 工学部准教授 前田恭伸 情報基盤機構教授 井上春樹 工学研究科教授 館岡康雄	5/14(金)・21 (金)・6/10(木)・ 18(金)・7/9(金) 18:30～21:30	アクトシティ浜 松・研修交流 センター	起業を目指す方、新しい価値観を考えたい方	45	3,100	(工)
安心登山のための読図と ナビゲーションスキル(春期)	教育学部教授 村越 真 オリエンテーリング日本代表 松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー 宮内佐季子 登山家 岩崎元郎	5/15(土) 14:00～16:30 5/16(日) 9:30～16:00	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	3,000	(教)
浜松で日本語ボランティア ～日本語と日本語教育の基礎 知識～	国際交流センター准教授 袴田麻里 国際交流センター教授 原澤伊都夫 国際交流センター教授 熊井浩子 国際交流センター准教授 案野香子 国際交流センター非常勤講師 松葉優子 学習院大学文学部教授 金田智子	5/15・22・29・ 6/5・12・26・ 7/3・10・24・31 (土) 14:00～ 17:00	浜松キャン パス	地域における外国人のための日本語学習支援活動に興味がある方	30	13,000	(国)
多文化共生社会における ヒューマン・ケア	人文社会科学研究科教授 笠井 仁 静岡県立大学短期大学部助教 天野ゆかり 人文社会科学研究科准教授 堂園俊彦 大学院法務研究科教授 藤本 亮 人文社会科学研究科准教授 竹ノ下弘久 人文社会科学研究科教授 船橋恵子	5/26・6/2・9・ 16・23・30(水) 18:30～20:30	アイセル21(葵 生涯学習セン ター)	医療や福祉に従事する方、滞日外国人のサポートに携わっているNPO関係者、教員、行政関係者、関心のある一般市民の方	30	1,700	(人)
仕事に活かそう エクセル統計分析の手法	地域連携協働センター特任教授 土居英二	7/10・17・24(土) 13:15～14:45	静岡市産学 交流センター B-nest	一般市民	50	1,000	(地)
体験!大学の化学実験	機器分析センター准教授 近藤 満 理学部助教 仁科直子	8/7(土)・8(日) 10:00～16:00	静岡キャンパス	原則として中学生以上(小学生は保護者の同伴が必要)	15	2,000	(生)
小学校外国語活動 スキルアップ講座Ⅲ	教育学部准教授 矢野 淳	8/20(金) 10:00～16:00	静岡キャンパス	県内小・中学校教員	25	500	(実)
沼津の古代遺跡を考える	人文学部教授 滝沢 誠 人文学部准教授 篠原和大 静岡県教育委員会 菊池吉修	9/4・11・18(土) 14:00～16:00	沼津市民文化 センター	一般市民	50	2,000	(生)

講座名	講師	日時	会場	対象	定員	受講料	主催
運動習慣を身につけたい シニアのための卓球入門教室	教育学部教授 吉田和人 NPO法人卓球交流会 山田耕司	10/2 (土) 13:30～16:00 10/3 (日) 9:30～12:00	静岡キャンパス	おおむね50歳以上の卓球未経験の一般市民	50	3,000	教
安心登山のための読図と ナビゲーションスキル (秋期)	教育学部教授 村越 真 オリエンテーリング日本代表 松澤俊行 ブロードベンチャーレーサー 宮内佐季子	10/23 (土) 9:30～16:30	静岡キャンパス	登山・アウトドア活動を行う一般市民	25	3,000	教
バイオテクノロジー体験 ～生長点培養をしてみよう～	農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術職員 成瀬和子	10/30 (土) 9:45～12:15	農学部附属地域フィールド 科学教育研究センター藤枝フィールド	中学生以上	16	800	農
ノルディックウォーキング& エクササイズと里山自然体験	教育学部准教授 杉山康司 教育学部准教授 祝原 豊 教育学部技術専門職員 重岡廣男 名誉教授 中野偉夫	11/1・8・15、 3/14・28 (月)	静岡キャンパス	メディカルチェック等で歩くことを制限されていない健康な方	25	10,000	教
情報学アラカルト講座 2010	情報学部教授 南 利明 情報学部教授 水野忠則 情報学部教授 湯浦克彦	11/13 (土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	一般市民	各50	各500	情
家庭果樹を楽しもう!! ～果樹のせん定教室～	農学部准教授 河原林和一郎 農学部助教 浅井辰夫 農学部助教 八幡昌紀 農学部技術専門職員 増田幸直 農学部技術専門職員 西川浩二 農学部技術専門職員 成瀬博規 農学部技術職員 成瀬和子	2/26 (土) 9:00～12:00	農学部附属地域フィールド 科学教育研究センター藤枝フィールド	高校生以上	10	1,500	農

[主催欄凡例]

- 〔生〕=生涯学習教育研究センター
- 〔人〕=人文学部
- 〔教〕=教育学部
- 〔農〕=農学部
- 〔情〕=情報学部
- 〔地〕=地域連携協働センター
- 〔実〕=教育学部附属教育実践総合センター
- 〔国〕=国際交流センター



明日の自分のために、
未来の社会のために、
静岡大学の公開講座。

2010年度前期 静岡大学公開講座

講座名	日時	会場	定員	受講料	主催
人間力と技術力との統合 (総合)	8/7 (日) 21:15～21:30 (共) 17 (共) 7/2 (8) 18:30～20:00	静岡大学附属センター	46	3,000	〔生〕
人間力と技術力との統合 (総合)	8/14 (日) 21:15～21:30 (共) 17 (共) 7/2 (8) 18:30～20:00	静岡大学附属センター	46	3,000	〔生〕
登山・アウトドア活動を行う一般市民	10/23 (土) 9:30～16:30	静岡キャンパス	25	3,000	〔教〕
バイオテクノロジー体験～生長点培養をしてみよう～	10/30 (土) 9:45～12:15	農学部附属地域フィールド	16	800	〔農〕
メディカルチェック等で歩くことを制限されていない健康な方	11/1・8・15、3/14・28 (月)	静岡キャンパス	25	10,000	〔教〕
一般市民	11/13 (土) 10:30～12:00	浜松キャンパス	各50	各500	〔情〕
高校生以上	2/26 (土) 9:00～12:00	農学部附属地域フィールド	10	1,500	〔農〕

●申し込み・問い合わせ先

講座名	申し込み先	問い合わせ先
1. 生涯学習教育研究センター	054-263-4817	l.l@shizuoka.ac.jp
2. 人文学部	054-263-4802	shizuoka@shizuoka.ac.jp
3. 教育学部	054-263-4802	kyokai@shizuoka.ac.jp
4. 農学部	054-263-4817	shizuoka@shizuoka.ac.jp
5. 情報学部	054-263-4817	shizuoka@shizuoka.ac.jp
6. 地域連携協働センター	054-263-4817	shizuoka@shizuoka.ac.jp
7. 教育学部附属教育実践総合センター	054-263-4817	shizuoka@shizuoka.ac.jp
8. 国際交流センター	054-263-4817	shizuoka@shizuoka.ac.jp

●申込方法
電話・FAX・メール 専者のうち、上記のどれか1つ以上を必ずお申し込みください。お申し込みは、お申し込みの受付時間まで有効です。

●申込期間
2010年9月10日(木)～10月1日(金) 10:00～16:00

●申込料
3,000円(税込)

●申込方法
お申し込みは、お申し込みの受付時間まで有効です。

ポスター



明日の自分のために、
未来の社会のために、
静岡大学の公開講座。

静岡大学 公開講座

[2010年度前期版]

静岡大学

パンフレット (全24ページ)

静岡大学創立60周年記念事業継続中！

静岡大学は、2009年度に創立60周年を迎え、その記念事業として数々の催しを行いました。生涯学習教育研究センターでは、「静岡大学・読売新聞連続市民講座」「静岡大学・中日新聞連携講座」「静岡大学・コー

プしずおか創立60周年記念連携公開講座」を実施しましたが、これらの講座は2010年度も継続して実施することになりました。

1 静岡大学・読売新聞連続市民講座「未来につなぐ、食と健康」

テーマ	回	日時	タイトル	講師	参加者	
食	1	5/8 (土)	14:00-16:00	食の安全性について	杉山公男 (農学部応用生物化学科教授)	133
	2	6/5 (土)	14:00-16:00	発酵の仕組みと酵母の秘密	瓜谷眞裕 (理学部化学科教授)	135
	3	7/3 (土)	14:00-16:00	機能性食品としての緑茶～緑茶によるメタボリックシンドローム予防を中心として～	茶山和敏 (農学部応用生物化学科准教授)	110
	4	8/7 (土)	14:00-16:00	日本の伝統的食生活・再考	矢野敬一 (教育学部社会科教育講座教授)	101
健康	5	9/4 (土)	14:00-16:00	疾病予防と健康観	山本裕之 (保健管理センター教授)	87
	6	10/2 (土)	14:00-16:00	環境ホルモンの影響	山内清志 (理学部生物科学科教授)	-
	7	11/6 (土)	14:00-16:00	いのちをめぐる倫理	松田 純 (人文学部社会学科教授)	-
	8	12/4 (土)	14:00-16:00	アウトドア：安全に楽しく	村越 真 (教育学部教育心理学専修教授)	-

■会場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム

■参加費：無料

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター、読売新聞東京本社静岡支局

静岡大学・読売新聞連続市民講座
未来につなぐ、食と健康 [全8回・前期]

私たちの生活に欠かせない「食と健康」に関する研究の最新動向を、
 静岡大学の教員が食と健康に関する研究の最新動向を、
 静岡大学の教員が食と健康に関する研究の最新動向を、

■申込先：読売新聞静岡支局 静岡市民講座係
 FAX: 054-252-4918 | E-mail: shizuoka@yomiuri.co.jp
 FAX: 054-252-4918 | E-mail: shizuoka@yomiuri.co.jp

定員◎各回120人
 会場◎静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム
 静岡市産学交流センター 静岡市民講座係
 TEL: 054-252-4917 | FAX: 054-252-4918 | E-mail: shizuoka@yomiuri.co.jp
 読売新聞静岡支局 静岡市民講座係
 TEL: 054-252-4917 | FAX: 054-252-4918 | E-mail: shizuoka@yomiuri.co.jp

参加無料

2010年5月14日(金曜日) 静岡新聞

危険回避へ食の知識必須

見たと重複添加物後押し

●「食の安全性」について
 食の安全性は、食の原料の安全性、加工工程の安全性、流通過程の安全性、消費過程の安全性の4つから構成されている。食の原料の安全性は、生産者の責任である。加工工程の安全性は、加工者の責任である。流通過程の安全性は、流通業者の責任である。消費過程の安全性は、消費者の責任である。

●「食の安全性」について
 食の安全性は、食の原料の安全性、加工工程の安全性、流通過程の安全性、消費過程の安全性の4つから構成されている。食の原料の安全性は、生産者の責任である。加工工程の安全性は、加工者の責任である。流通過程の安全性は、流通業者の責任である。消費過程の安全性は、消費者の責任である。

前期版チラシ

読売新聞に掲載された詳細記事 (第1回)

2 静岡大学・コープしずおか連携講座「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」

回	日時	タイトル	講師	参加者
1	7/3 (土) 10:00-12:00	健康と運動 ～いくつになっても自分のことは自分でやる～	中野美恵子 (教育学部保健体育講座教授)	41
2	8/28 (土) 10:00-12:00	食品化学の世界 ～安全・安心な食品とは～	衛藤英男 (農学部応用生物化学科教授)	42
3	10/2 (土) 10:00-12:00	環境問題のウソ・ホント ～自分の頭で考えよう!～	松田 智 (工学部物質工学科准教授)	—
4	12/18 (土) 10:00-12:00	グリーンコンシューマーを目指して ～地球環境も家計も守る～	佐藤エイ子 (静岡市消費者協会)	—

■ 会 場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム

■ 参加費：200円 (資料代)

■ 主 催：静岡大学、コープしずおか

2010年度 静岡大学・コープしずおか連携講座
「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」
第1回 **健康と運動**
いくつになっても自分のことは自分でやる

昨年度から始まった静岡大学・コープしずおか連携講座。
今年度は、「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」をテーマに、「食生活」について、健康者・生活者の視点など、いろいろな角度から学び、考え、深めていきたいと思えます。

2010.7.3[土] 10:00～12:00

■ 講 師：中野美恵子 (静岡大学教育学部教授)
■ 会場：静岡市産学交流センター B-nest プレゼンテーションルーム
■ 参加費：200円 (資料代)
■ 主 催：静岡大学・コープしずおか
■ 問い合わせ先：事務局
☎020-71-8107 (受付時間：11:30) FAX:054-272-6971
E-mail: Hisahiro.Mimida@coop-shizuoka.or.jp

2010年度 静岡大学・コープしずおか連携講座
「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」
第2回 **食品化学の世界**
安全・安心な食品とは

現在、食についての関心は高く、安全・安心・自然由来食品も多くあります。しかし、選択や購入時に選ばれることなく、望まぬ食品は間接的に摂取してしまうことが大問題です。本講座では、食品化学の世界を学びながら、安全・安心な食品を見極める方法を学びます。

2010.8.28[土] 10:00～12:00

■ 講 師：衛藤 英男 (静岡大学農学部教授)
■ 会場：静岡市産学交流センター B-nest プレゼンテーションルーム
■ 参加費：200円 (資料代)
■ 主 催：静岡大学・コープしずおか
■ 問い合わせ先：事務局
☎020-71-8107 (受付時間：11:30) FAX:054-272-6971
E-mail: Hisahiro.Mimida@coop-shizuoka.or.jp

2010年度 静岡大学・コープしずおか連携講座
「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」
第3回 **環境問題のウソ・ホント**
～自分の頭で考えよう!～

昨年度から始まった静岡大学・コープしずおか連携講座。
今年度は、「自分らしく生きる～豊かなライフスタイルに向けて～」をテーマに、「食生活」について、健康者・生活者の視点など、いろいろな角度から学び、考え、深めていきたいと思えます。

2010.10.2[土] 10:00～12:00

■ 講 師：松田 智 (静岡大学工学部物質工学科准教授)
■ 会場：静岡市産学交流センター B-nest プレゼンテーションルーム
■ 参加費：200円 (資料代)
■ 主 催：静岡大学・コープしずおか
■ 問い合わせ先：事務局
☎020-71-8107 (受付時間：11:30) FAX:054-272-6971
E-mail: Hisahiro.Mimida@coop-shizuoka.or.jp

3 静岡大学創立60周年記念公開シンポジウムⅡ「それはいかに実現されたのか？」

回	日時	タイトル	パネリスト	参加者
2	4/24 (土) 13:30-16:30	今、戦争と平和について考える	山本義彦 (静岡大学名誉教授) 高橋洋児 (静岡大学名誉教授)	37
3	6/26 (土) 13:30-16:30	食ること、生きること ～未来の食と農の姿～	佐藤洋一郎 (総合地球環境学研究所副所長) 川口由一 (農家・自然農提唱者) 中井弘和 (静岡大学名誉教授)	72
4	8/28 (土) 13:30-16:30	科学とテクノロジーが辿る道	荒川 紘 (静岡大学名誉教授・愛知東邦大学教授) 荒木信幸 (静岡大学名誉教授・静岡理工科大学学長) 天岸祥光 (静岡大学名誉教授) 石川勝利 (静岡大学名誉教授)	30
5	10/30 (土) 13:30-16:30	教育・福祉・地域づくり ～よりよく生きるために～	小櫻義明 (静岡大学名誉教授) 角替弘志 (静岡大学名誉教授・常葉学園大学学長) 石井正春 (静岡大学名誉教授)	—
6	12/18 (土) 13:30-16:30	いま、再び<いのち>を考える	石川憲彦 (林試の森クリニック院長) 松田 純 (静岡大学人文学部教授) 田島靖則 (日本福音ルーテル教会雪ヶ谷教会牧師)	—

■ 会 場：静岡市産学交流センター (B-nest) 6階プレゼンテーションルーム

■ コーディネーター：中井弘和 (静岡大学名誉教授)

■ 参加費：無料

2010年度上半期（4月～9月）の事業報告

主催事業

公開セミナー

「学ぶって楽しい！～大学で学ぼう～」

知的障害のある人が、学校卒業後も生涯学習の機会を持ち、より豊かな人生を送ることができることを目的に、「学ぶって楽しい！」と題する公開セミナーを実施しました。知的障害のある人にとっても、学び続ける機会があることで、社会参加の幅が広がり、人生をより豊かにすることができます。大学のキャンパスを学びの場にしようという趣旨の企画です。ボランティアの方々も含めたくさんの方々に参加いただきました。

■日時：2010年6月20日（日）9:10～12:00

■プログラム：

[演習]「アイスブレイク～学びのなまか～」講師：大畑智里（静岡大学教育学部附属特別支援学校教諭）
[講義・実技]「描くことの魅力を探ろう～色やかたちを見つめて～」講師：高橋智子（静岡大学教育学部講師）

■参加費：300円（材料代）

■参加者数：53人

■会場：静岡大学教育学部B棟212教室

■参加者：静岡県の知的障害養護学校等卒業の社会人（18歳以上）、県立特別支援学校等の教員、青年学級等の関係者・保護者、静岡大学教育学部特別支援教育（障害児教育）専攻の学生、静岡県知的障害者就労研究会会員など

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

■企画：静岡県知的障害者就労研究会

公開講座

「体験！大学の化学実験」

この講座は、一般の市民、特に中高校生を対象に、実際に理学部化学科の3年生の専門実験で行っている実験の一部を体験できる場を設けようとして実施するものです。

今回のテーマは「水の分析」で、水中のカルシウムやマグネシウム、あるいは鉄分の分析を行いました。2日目には参加者が普段飲んでいる、水を持参いただき、その中に含まれるカルシウム分の分析を行いました。

■日時：2010年8月7日（土）、8日（日）10:00～16:00

■講師：近藤 満（静岡大学機器分析センター准教授）、仁科直子（静岡大学理学部助教）

■参加費：2,000円

■対象：原則として中学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）

■会場：静岡大学静岡キャンパス

■参加者数：8人

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

しずだい飛び教室 in 吉田町

「三国志の世界～戦争と平和～」

「しずだい飛び教室」は、地域への大学開放事業の一つとして、静岡大学関係の教職員が、静岡県内の遠隔市町へ出向き、出前講演等を行うものです。

本事業は、大学の特徴ある教育研究を地域に広げ、大学への関心を高め、地域の生涯学習に資することを目的としています。今回は、「三国志の世界～戦争と平和」というテーマで、400年間にわたる長期政権であった漢帝国が崩壊し、新たな政権が生み出される動乱の時代である三国時代の特色と動向を、軍事史を中心に概観しました。

■日時：2010年8月26日（木）19:30～21:00

■講師：重近啓樹（静岡大学人文学部教授）

■参加費：無料

■対象：高校生以上

■会場：吉田町中央公民館

■参加者数：42人

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

■共催：吉田町教育

静岡大学公開講座
体験！大学の化学実験

日時：2010年8月7日(土)、8日(日) 10:00～16:00
講師：近藤 満(静岡大学機器分析センター准教授)、仁科直子(静岡大学理学部化学科助教)

実験内容：「水の分析」を行います。水中のカルシウムやマグネシウム、あるいは鉄分の分析を行います。2日目には参加者が普段飲んでいる、水を持参いただき、その中に含まれるカルシウム分の分析を行います。実際に理学部化学科の3年生の専門実験で行っている実験の一部を実施します。

会場：静岡大学静岡キャンパス
定員：15人
対象：原則として中学生以上（小学生は保護者の同伴が必要）
参加費：2,000円
申込方法：FAXまたはメールでの申し込みが基本となります。申し込みは先着順です。
FAX: 054-253-4817
E: shizuoka@shizuoka.ac.jp
静岡大学生涯学習教育研究センター
〒422-8502 静岡市駿河区南町1-1-1
TEL: 054-253-4817 FAX: 054-253-4818
http://www.shizuoka.ac.jp

2010年度静岡大学出前講演会
しずだい飛び教室 in 吉田町
三国志の世界～戦争と平和～

2010年8月26日(木) 19:30～21:00
講師：重近啓樹(静岡大学人文学部教授) 参加費無料

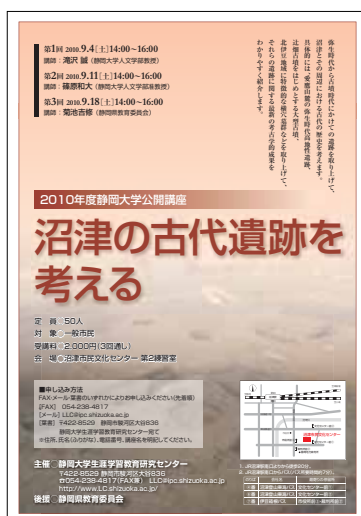
会場：吉田町中央公民館
日時：2010年7月30日～8月12日
定員：50人(15歳未満の参加者も含まれてはなりません)

申込方法：申し込みは吉田町中央公民館へ提出してください。
申込先：静岡大学生涯学習教育研究センター
〒422-8502 静岡市駿河区南町1-1-1
TEL: 054-253-4817 FAX: 054-253-4818
http://www.shizuoka.ac.jp

公開講座

「沼津の古代遺跡を考える」

弥生時代から古墳時代にかけての遺跡を取り上げて、沼津とその周辺における古代の歴史を考えました。具体的には、愛鷹山麓の弥生時代高地性遺跡、辻畑古墳をはじめとする大型古墳、北伊豆地域に特徴的な横穴墓群などを取り上げて、それらの遺跡に関する最新の考古学的成果をわかりやすく紹介しました。



■日時：2010年9月4日（土）・11日（土）・18日（土）
[全3回] 14:00～16:00

■プログラム：

- ①9/4（土）「古墳出現期の沼津」講師：滝沢 誠（静岡大学人文学部教授）
- ②9/11（土）「農耕文化形成期の沼津」講師：篠原和 大（静岡大学人文学部准教授）
- ③9/18（土）「古墳時代後期の東駿河～埋葬施設からみる特徴～」講師：菊池吉修（静岡県教育委員会）

■参加費：2,000円（3回通し）

■対象：一般市民

■会場：沼津市民文化センター

■参加者数：40人

■主催：静岡大学生涯学習教育研究センター

企画協力事業

静岡市・大学連携事業 市民大学リレー講座 「静岡市を学ぶ」

■日時：2010年8月7日～9月25日 [全5回] 13:30～15:00

■プログラム：

- ①8/7（土）「薬食同源～健康長寿に向けて～」講師：野口博司（静岡県立大学教授）
- ②8/28（土）「静岡市の魅力を探る～水産都市としての横顔～」講師：関いずみ（東海大学准教授）
- ③9/4（火）「平成の市町村合併と新静岡市の誕生」講師：西原 純（静岡大学情報学部教授）
- ④9/11（土）「山岡鉄舟と明治の群像」講師：日比野秀男（常葉学園大学教授）
- ⑤9/25（土）「コミュニティの『福祉化』を考える～静岡市の健康福祉策が目指すもの～」講師：青山登志夫（静岡英和学院大学教授）

■参加費：無料

■会場：アイセル21

■主催：静岡英和学院大学、静岡県立大学、静岡大学、東海大学、常葉学園大学、静岡市

■企画協力：静岡大学生涯学習教育研究センター

センターニュース

静大フェスタに参加しました

静岡大学創立60周年記念事業の一環として、2008年度から実施されている静大フェスタ。静岡大学の日ごろの教育や研究の成果、学生たちの活躍する様子を広く市民の方々に紹介するイベントで、2010年度で3回目を迎えます。第1回（2008年度）は静岡駅北口の青葉シンボルロード、第2回（2009年度）はツインメッセ静岡北館、そして第3回は、2010年6月5日（土）・3日（日）に、グランシップ大ホールで行われました。

生涯学習教育研究センターでは、2008年度から毎回ブースを出展しています。派手な展示物があるわけで



はありませんが、市民開放授業の映像をビデオで流したり、当センターが発行した報告書を無料で配布したりと、毎回趣向を凝らしています。今回は、壁面には事業内容をお知らせするポスターを掲示し、卓上には市民開放授業のシラバスや、当センターの発行物などを置きました。

会場の奥まった場所にブースが割り当てられてしまったため、照明が届かずに予想以上に暗くなり、ただでさえ地味なブースがさらに地味に見えてしまうという不運に見舞われましたが、何とかそれなりに形になりました。

ウェブサイトリニューアルしました

2010年3月24日、生涯学習教育研究センターのウェブサイトが新しくなりました。デザインを一新し、CMS（Content Management System）という技術を利用して、容易に情報が更新できるようになりました。

また、本誌『地域と大学』のバックナンバーや、当センターで発行した報告書がダウンロードできるようになりました。お問い合わせのフォームもできましたので、大学開放事業・講座の企画・講師紹介に関することなどのご相談がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

まだまだ手直しが必要ですが、より新鮮な情報が即座に提供できるよう、努力を続けていきたいと思えます。なお、リニューアルに合わせて、URLも変わりました。

(旧) <http://www.shizuoka.ac.jp/~cerll/>

(新) <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>



生涯学習教育研究センター運営委員会

当センターには、「生涯学習教育研究センター運営委員会」が組織されています。当センターの運営や組織について審議するとともに、全学公開講座の企画・立案・実施に関しても審議します。静岡大学の教員により組織され、定期的に審議をおこなっています。

運営委員名簿（2010年度）

阿部 耕也	センター長・センター専任教員・教授
小西 潤子	副センター長・教育学部准教授
金子 淳	センター専任教員・准教授
遠山 弘徳	人文学部教授
藤井 基貴	教育学部准教授
小暮 悟	情報学部講師
小山 晃	理学部教授
梅本 宏信	工学部教授
竹之内裕文	農学部教授

木下 治久 電子工学研究所准教授
須藤 智 大学教育センター講師

生涯学習教育研究センターでは、学内の公開講座情報、大学開放事業などを掲載し、広報します。各種情報を当センターまでお寄せください。

URL <http://www.Lc.shizuoka.ac.jp/>

地域と大学 第21号

静岡大学生涯学習教育研究センター情報誌

発行日—— 2010年9月30日

発行—— 静岡大学生涯学習教育研究センター

〒422-8529 静岡市駿河区大谷836

(理学部B棟1階)

TEL&FAX: 054-238-4817 (資料室・受付)

E-mail : LLC@ipc.shizuoka.ac.jp

(事務局) 学術情報部研究協力・情報チーム ☎ 054-238-4317